

一般質問発言通告書

議席番号 14番

氏名 串崎 利行

答弁を求める者
(○をつける)

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長
農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1 農業の振興について

(1) 有機農業の拡大について

- ① 有機農業の普及・拡大は世界の潮流だが、取り組む生産者がなかなか増えていないと感じている。有機農業を広げるには再生産できる価格の実現と、安定した供給先の確保が重要である。有機農業の普及・拡大について市の状況を伺う。
- ② 現在の課題は何か伺う。
- ③ 有機農業拡大のために地域支援型農業（CSA）を積極的に取り入れるべきと感じるが、市の考えを伺う。
- ④ 有機農業の拡大について、将来的な考えを伺う。

(2) みどりの認定について

- ① 環境に配慮した農業に取り組む農家を認定する「みどりの認定」を取得した農家が増えている。島根県は認定件数が約316件と聞くが、市の状況について伺う。
- ② 将来的な市の考えを伺う。

(3) 国際女性農業従事者について

- ① 2026年を「国際女性農業従事者年」と定め、農業や関連産業に携わる女性の地位向上を働きかけ、食料安全保障の確立につなげ、技術取得など色々な面で女性が直面する格差を解消し、新たな担い手確保を目指す。農業は女性が継続的に活躍できる仕組みが重要だと感じるが、市の状況を伺う。

② 将来的な市の考えを伺う。

③ 若い世代の女性を農業にどう呼び込むか、市の考えを伺う。

(4) 小中学生の不登校について

- ① 全国的に、小中学生の不登校が増え続けている。登校への意識が新型コロナウイルス禍で変化したことやいじめの問題が背景にあるとみられるが、学校に代わる居場所づくりは十分ではないと感じている。居場所は、子どもの心身を育む場として農業が貢献できる可能性は大きく、農業振興にもつながると感じるが市の考えを伺う。

2 給食調理のごみや食べ残しの堆肥化について

- ① 給食調理のごみや食べ残しの堆肥化が始まったのは1997年で、当初は一部の学校だけの取組だったが、食育や環境教育への効果が裏付けられたことから、堆肥化を始めた学校は拡大している。こうしたリサイクル事業は、給食と教科の連携事業に取り込まれており、連携をしている学校は、社会、理科、生活、家庭、技術など、総合的な学習として幅が広いと感じるが、堆肥化について市の考えを伺う。

3 太陽光パネル破棄問題について

- ① 太陽光発電に欠かせない使用済みパネルのリサイクル制度の整備が難航すると聞く。パネルは、種類によって鉛やカドミウムなどの有害物質が含まれており、不法投棄されれば環境に悪影響を及ぼす可能性があるが、市の考えを伺う。